

令和５年度 三浦市総合計画審議会（第１分科会） 議事録

- 【日 時】 令和５年７月１４日（金）１３：３０～１５：３０
- 【場 所】 三浦市役所第２分館第１会合室
- 【出席者】 一條英仁委員、加藤勝典委員、草川晴夫委員、草間道治委員、
小林直樹委員、小林義雄委員、鈴木清委員、鈴木金太郎委員
- 【関係職員】 齊藤もてなし課長、小林市長室統括課長兼経済部観光営業担当課長、鷺阪海
業水産課長、小貫財産管理課長、蛭田農産課長、盛永市長室特定事業計画担
当課長、古川下水道課長
木村政策部長、三橋政策課ＧＬ

【次 第】

（全体会）

１ 開 会

２ 議 題

- （１）会長、副会長の選出について
- （２）諮問について
- （３）分科会構成及び座長の選出について
- （４）会議録の公表手続きについて

（分科会）

- （５）三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等の外部評価について
- （６）その他

３ 閉 会

【議事録】

２ 議 題

（５）三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等の外部評価について

事務局（木村政策部長）

- これより議題５の外部評価に入る。
- まず、評価の説明を事務局から行う。
事務局より、外部評価について説明（説明略）

- それではまず、分科会を開催するにあたり、小林座長より一言ごあいさつをお願い
いする。

小林座長

- 令和４年度の総合計画の外部評価について、皆さまと一緒に活発な議論を進めて
いきたいと思うので、ご協力をお願いする。

事務局（木村政策部長）

- これ以降は、座長の進行でお願いします。

小林座長

- それでは、議題 5 の外部評価を始める。
- 評価については、説明する担当課の関係上、施策No.1、2、3-3、3-1、3-2、13 の順で進める。
- ではまず施策No.1 について、説明をお願いします。

齊藤もてなし課長より施策No.1「農業、漁業、観光業の連携による観光振興」について資料に基づき説明（説明略）

小林座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

小林直樹委員

- 令和4年度の事業費が他年度と比べ突出しているのは、観光の核づくり推進事業の城ヶ島西部地区再開発によるものか。

小林市長室統括課長兼経済部観光営業担当課長

- 令和4年度については、城ヶ島西部地区のまちづくりの中で、市道拡幅整備に伴う用地買収、補償等を行ったため、事業費が大きくなっている。

小林直樹委員

- KPI の分析の中で、宿泊については良くなってきていて、日帰りが減っているという説明であったが、宿泊が良くなった要因は分析しているか。

齊藤もてなし課長

- 宿泊施設自体が減少していることは否めないが、マホロバマインズが一番大きな宿泊施設であり、一昨年はコロナの影響で宿泊客数が減少したが、徐々に戻りつつあるという状況である。

小林直樹委員

- 油壺マリンパークの閉鎖の影響もあり、日帰り客が減少しているということであるが、今後の土地利用については事業者から何か聞いているか。

齊藤もてなし課長

- 三浦半島全体のエリアマネジメントということで、油壺地区はディベロッパと共同で行う旨、京浜急行電鉄㈱のホームページ上で示されているが、その進捗については、京浜急行電鉄から聞いていない。

小林直樹委員

- 市街化調整区域や風致の関係上、土地利用の難しさはあると思う。
- 令和5年度、観光バスが目立つようになり日帰りの客数も戻ってきているように感じるが、どのように捉えているか。

齊藤もてなし課長

- うらりの駐車場を見ても観光バスが並ぶ機会が増えており、教育旅行においてもコロナ5類移行もあって、バスでのお客様は目に見えて増えてきていると感じている。

小林直樹委員

- KPIを見ると苦戦を感じるが、令和8年を待たず、元の水準を取り戻せることを期待している。

草間委員

- 令和5年、マラソンは開催され、花火や夜市等のイベントも再開されるため、明るい兆しがある。今後、観光客数も増えていく見込みであると思うが、イベント再開後、目標達成についての見通しはいかがか。

齊藤もてなし課長

- 花火大会、夜市に続いて、みこしパレードについても話を進めている。徐々にイベントの機会が増えれば、コロナ前の数値に戻ってくるという期待も含めて、取組を進めている。

草間委員

- コロナで教育旅行の誘致やイベント企画ができない状況であったため、今年度から目標達成に向け、力を尽くしていただきたい。

草川委員

- 宿泊が伸びている要因は、観光協会としても分析がまだできていないが、コロナで閉鎖された民宿等の施設もあるが、その後、古民家をリニューアルし、宿泊施設にしたり、グランピングやマリンパーク跡地のキャンプ場など、小さい宿泊施設が増えてきている実感がある。大型ではないが、施設数も増えているため、今後さらに増えれば大型施設でなくてもカバーできていると思っている。

加藤委員

- 油壺マリンパークに代わる娯楽施設の計画はないのか。三浦に何度も来たいと思っていただくためには、そのような施設があった方が良くと思う。

一條委員

- 京浜急行電鉄としてご回答させていただく。
- ディベロッパと協議をしているところであるが、富士山と海が同時に眺望できるエリアは首都圏では極めて少なく、ディベロッパも前向きに色々な施設を検討していただいている状況である。
- 一方、西海岸だけでなく、東海岸エリアについても、ゴールデンウィークにオープントップバスを運行したところ、皆様に興味を持っていただいた。三浦半島を回遊していただくような施策を引き続き考えていきたい。
- 草川委員の話にもあったが、移住されてお店を開かれたり、古民家の宿泊施設を開

いた方などのネットワークが徐々に広がっているため着実に伸ばしていきたい。

- ゴールデンウィークに混雑対策を行ったが、遠出された方が多く、思ったより混雑しなかった。首都圏の私鉄全般が同じような状況であった。危機感を持たなければいけないと感じている。
- 三浦は道路環境も弱い状況であると認識しているため、公共交通機関と上手く連携しながら、お客様が回遊していただく施策を市と一緒に進めていきたい。

鈴木清委員

- 三浦市全般として、様々な分野で大きなダメージを受けているが、コロナ終息後、ダメージも少なくなっていくのではと個人的には感じている。

小林座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。

小林座長

- 次に施策No.2について、説明をお願いします。

小林市長室統括課長兼経済部もてなし課観光営業担当課長より施策No.2「経営支援・企業誘致」について資料に基づき説明（説明略）

小林座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

一條委員

- KPI の創業者5件は、どのような業種で創業されているか。

齊藤もてなし課長

- 飲食店が4件、結婚相談所が1件である。

草間委員

- 城山地区利活用事業であるが、契約締結に至らなかった理由について説明をお願いします。

小林市長室統括課長兼経済部観光営業担当課長

- 公図と現況がかなり乖離していたため、国の制度を使い、整理を進めてきたが、国の審査に想定より審査に時間を要したため、売買用に必要な再分筆業務が着手に至らなかったことが一つの要因となる。

- また、事業者との協議を継続したこともあり、契約締結には至らなかった。

草間委員

- 城山地区については、なかなか事業化が進まない状況もあるが、国の補助制度を活用する意向もあるが、その見通しはあるか。

小林市長室統括課長兼経済部観光営業担当課長

- 一度、不採択となった経過があるが、国の新制度を活用することにより、先行事業を始めていただくことを目的に事業者と協議を進めたもので、現在も検討は続いている。いずれにしても年末を土地売買契約目標としているため、その時期までに事業計画書を確認し、あらゆる制度の活用を検討しながら、早く事業が進むよう調整を行っていききたい。

草間委員

- 城山地区、あるいは二町谷地区についても、新たな雇用の創出にまで至っていないと思うが、今回の評価にも含まれるのか。

事務局（木村政策部長）

- 年度間では KPI により評価を行わせていただいている。雇用の人数としては全体の目標としているため、計画の最終年度で評価を行わせていただく。

草川委員

- 昨年度、二町谷地区で富裕層向けのイベントを行ったが、今年度の計画はいかがか。

小林市長室統括課長兼経済部観光営業担当課長

- 昨年度開催したイベントは、通常のイベントとは趣旨が異なるものである。通常のイベントは、多くの人を集めることが目標となるが、現状、二町谷地区に富裕層が訪れる流れができていないため、限られたメンバーではあるが、富裕層の方に来ていただいて体感していただく趣旨で開催している。二町谷の開発を 10 年かけて進めていくという計画の中で、今はブランディングの時期と位置づけており、今年度も実施する予定である。

草川委員

- 三浦で富裕層向けイベントが開催されたことを知らない方が多いため、今後は広くアピールするような周知も検討していただきたい。

小林市長室統括課長兼経済部観光営業担当課長

- 段階的に進めていきたいと考えている。まずは、富裕層に来ていただくところから始め、定着が図られた段階で、徐々に地域とのマッチング等を進めさせていただきたい。

小林直樹委員

- 城山地区利活用事業の要素が、KPI に設定されていないことには何か理由があるか。

事務局（木村政策部長）

- 資料 9 の 5 ページの具体的な施策の 2 段落目に、「旧三崎中学校跡地等城山地区事

業用地の利活用に向けた取組を進めます。」とある。計画段階では、まだ熟度があまり高くなく、KPI の目標設定にまで至らなかった。しかし、KPI③の創業者数にいずれカウントできる想定ではあったが、事業用地を出してまでの目標設定には至らなかったと記憶している。

小林直樹委員

- 6 ページの構成事業の令和 4 年度の主な取組と成果で、具体的な目標項目が挙げられているため、KPI としてもこの 2 つの評価で、設定することができたのではないかな。

事務局（木村政策部長）

- KPI については、計画策定時に 5 年間分を設定している。原則として、年度ごとに KPI を設定し直すことはしていない。

小林座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は達成しているため、「5」としたいがよろしいかな。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。

小林座長

- 次に施策No.3－3について、説明をお願いします。

齊藤もてなし課長より施策No.3－3「水産業・農業・商工サービス業の振興（商工サービス業関係）」について資料に基づき説明（説明略）

小林座長

- 今の説明に質問、意見があるかな。

小林直樹委員

- 中小企業退職金共済掛金補助事業があつて非常に助かったという話も聞くが、令和 4 年度に中小企業退職金共済制度で退職金を受けた人数は把握しているかな。

齊藤もてなし課長

- 把握していない。

小林直樹委員

- 退職金を払う側も、受け取る側もこの制度があつて助かったという話を聞くため、目立たないが非常に重要であると思う。
- KPI であるが、コロナの関係もあり非常に厳しい状況であると思うが、今後の見通しについて何か考えはあるかな。

齊藤もてなし課長

- コロナによる景気の低迷に追随して、物価高、資材高騰が起きている。6月議会において、おもてなしクーポンの補正予算を計上させていただいた。消費者が使いやすい、お金が循環しやすい施策を行政的に仕掛け、法人や個人の所得向上、税の課税に繋がるよう、特定財源が活用できれば、市内経済の循環を図っていきたい。

小林直樹委員

- コロナが5類になって、交付金が打ち切られると、事業を展開していくことが難しくなるのではと心配している。

齊藤もてなし課長

- 電子決済など小売店、販売店でも取り入れていただけると、都心では現金より電子マネーの取引が多くなっている状況もあるため、三浦市でも普及すれば、新たな客の獲得に繋がるのではと期待している。

小林直樹委員

- 地域の中で経済が循環することが効率の良いことだと思う。工夫して仕掛けていていただきたい。

小林座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。

小林座長

- 次に施策No.3-1について、説明をお願いします。

鷺阪海業水産課長より施策No.3-1「水産業・農業・商工サービス業の振興（水産業関係）」について資料に基づき説明（説明略）

小林座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

鈴木清委員

- 三崎で水揚げをしたいが、海上保安庁の取締まりが厳しすぎて困るという話が、事業者から漁協に入る。三崎で水揚げ、給油、餌の購入ができれば、経費削減ができるため、事業者は三崎で水揚げをしたがっている。他県との状況の違いについて、

海上保安庁に問い合わせても明確な答えがなく困っている。

鷺阪海業水産課長

- 他の漁港での取り締まりの状況については、何とも言えないが、皆がルールを守る環境を作っていくためにどうしたら良いかを協議、検討をしていきたいと思っている。

鈴木清委員

- 大きな財源に繋がる話であるため、ぜひ力添えをお願いしたい。

鈴木金太郎委員

- 市から海上保安庁に問い合わせをしてみてもどうか。
- これからは、行政も一緒になって、漁港を使ってもらえるよう宣伝していくことが必要だと思う。
- 事業者も行政も、魚をより多く売る、買ってもらうために努力が必要である。お互いに協力して、価値ある三浦市になるように、前向きに進めていっていただきたい。

草間委員

- 東京湾という場所的に、海上保安庁の取り締まりは、他県と比べて厳しいのか。

鷺阪海業水産課長

- 海上保安庁と話をしたこともあるが、三崎だけが厳しいという話ではないようである。
- 話を伺うと喫水線の違反、取り締まりが多いようである。海の安全のために、皆がルールを守るにはどうしたら良いかという方向で話し合いをしていきたいと考えている。

鈴木清委員

- 三崎で水揚げできればという話を事業者からよく聞くため、今後のため、情報を把握しておいていただきたい。

鷺阪海業水産課長

- 三崎がかつおの水揚げのため環境として、地の利があるということは多くの方が思っているところであるため、引き続き検討していきたい。

小林座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。

小林座長

- 次に施策No.3－2について、説明をお願いします。

**蛭田農産課長より施策No.3－2「水産業・農業・商工サービス業の振興（農業関係）」
について資料に基づき説明（説明略）**

小林座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

草川委員

- 有害鳥獣対策であるが、捕獲頭数が年々減っていると思うが、頭数自体が減少しているのか、それとも捕獲をすり抜けている状況であるのか。

蛭田農産課長

- 近年で捕獲頭数が多かったのは令和2年度で、全体で329件であった。令和3年度は277件、令和4年度は174件と減少はしているが、令和元年度以前の平均が約150件であったため、一時のピークは過ぎているが、まだまだ頭数的に多いと認識している。

草川委員

- 大型の鳥獣が最近出ているか。

蛭田農産課長

- 近年は、タイワンリスが多い。アライグマ、ハクビシンについては減少傾向である。

小林座長

- 捕獲頭数で比較しているが、被害件数のような数値は把握しているか。

蛭田農産課長

- その数値は把握していない。

小林直樹委員

- KPIは目標値には到達しなかったが、前年に比べて増加したという分析でよいのか。

蛭田農産課長

- そのとおりである。令和3年の状況がかなり厳しいものであった。

小林直樹委員

- インターネットでの通信販売が110%増となっているが、どのような野菜が好調であったのか。

蛭田農産課長

- 詳細な内訳は把握していない。

小林直樹委員

- どのような野菜が伸びているのか、分析をお願いしたい。

小林直樹委員

- 20ページの販路拡大で、北海道への空輸について記載があるが、海路より空輸の

方が、コストがかかると思うが、採算は取れるものか。

蛭田農産課長

- 去年はコロナ禍もあって、カラで運ぶよりはという条件でのものであったが、継続できるものかは今後の検討となる。三浦市での春野菜の時期は、北海道では葉物野菜が不足しているため、需要はあると聞いている。

小林直樹委員

- コロナで荷物が少なくて、その隙間で入れたという状況であるか。

蛭田農産課長

- そうである。今後、状況を踏まえて、継続ができるのか検討していく。

小林直樹委員

- コスト面でも採算がとれ、継続できることを期待している。

草間委員

- 北海道への空輸のキャベツは、朝採りでその日のうちに店舗に並ぶように取り組んだと思うが、間違いないか。

蛭田農産課長

- そのように聞いている。

草間委員

- 空輸のメリットを生かした取組であるため、販路拡大として重要であると思うため、継続していただきたい。
- 生産資材等のコストが上昇しているが、どの程度上昇している状況であるか。

蛭田農産課長

- 全体としてどの程度上昇しているか、今は把握していない。肥料に関しては、昨年より 28%下落していることは確認している。

草間委員

- 経済対策として事業を実施していくのであれば、どの程度上昇しているかは把握をお願いしたい。
- 有害鳥獣の件数は減っているが、被害が多いのは夏である。果物、スイカ、トウモロコシなどが被害にあう。根本的に夏野菜の栽培が減少している影響もあると思う。有害鳥獣を全て捕獲するのは厳しいが、事業は今後も継続していただきたい。

小林座長

- KPI で平成 29 年の数値だけ極めて大きい、特別な年であったか。この年を見習うことができるのか。

草間委員

- 野菜の売上が非常に良かった年だったと思う。

蛭田農産課長

- 理由については資料がないが、野菜の価格が良く、突出した状況にあった年であっ

たと記憶している。

小林座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。
-

小林座長

- 次に施策No.13について、説明をお願いします。

**盛永市長室特定事業計画担当課長より施策No.13「中心核交流機能の育成」について
資料に基づき説明（説明略）**

小林座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

小林直樹委員

- 令和4年度の主な取組と成果の市民交流拠点整備事業（公共下水道整備）で事業計画等を変更するということだが、現在、ベイシアと消防署は公共下水道に繋がっているか。

古川下水道課長

- 元々、下水道区域であり、現在、下水道に繋がっている状況である。

小林直樹委員

- B2地区について、公共下水道区域に含めるということであるか。

古川下水道課長

- そのとおりである。

小林直樹委員

- 周辺の住宅地も一緒に下水道区域に取り込む計画もあったと思うが、それは進んでいるのか。

古川下水道課長

- 今回の下水道区域には取り込まないこととした。土地の所有の関係があり、アンケートを取り、希望等を把握したが、私有地の問題があったため、下水道計画としては取り込まないこととした。ただ、地形的には水が入ってくるため、都市計画決定上は下水道区域とし、将来的に下水道事業計画上も取り込めるような方法をとった。

小林直樹委員

- 都市計画決定はするが、下水道事業計画としてはやらないということか。

古川下水道課長

- そのとおりである。下水道事業計画とすると、市として下水道を整備する義務が生じ、市民の方は下水道に接続する義務が生じるため、まだ下水道区域とするには早いと判断した。

小林直樹委員

- 周辺の住宅地は次の段階ということであるか。

古川下水道課長

- そのとおりである。

小林座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標はすべて未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。
-

小林座長

- 次に、議題5の外部評価のうち、地方創生に係る交付金事業の評価について、事務局より説明をお願いします。

三橋政策課GLより、資料11について説明（説明略）

小林座長

- 今の説明に質問、意見があるか。
- 特段なければ、この事業の外部評価をさせていただく。
- 一部のKPIが目標値に達しなかったが、概ね成果が得られたとしており、地方創生に効果があったため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

小林座長

- それでは、そのように決定する。
-

（6）その他

小林座長

- 次に、その他について、事務局より何かあるか。

事務局（三橋政策課GL）

- 本日の議事録については、概ね1週間程度で作成をし、座長確認のうえ、委員の皆様に報告する予定で進める。その他は以上である。
-

3 閉 会

小林座長

- 以上で本日の議題は全て終了した。ここで、事務局に進行を戻す。

事務局（木村政策部長）

- 本日は、出席いただき感謝申し上げます。
- また、貴重な意見をいただき感謝申し上げます。皆さんの貴重な意見を生かし、より良い事業へ見直していきたいと思う。
- 本日は長時間にわたり、ご審議いただき改めて感謝申し上げます。
- 以上をもって、令和5年度三浦市総合計画審議会第を終了する。